

石川地域づくり協会 会長 あて

石川地域づくり協会コーディネーター
安藤 紫

石川地域づくりコーディネーター活動レポート

1. 基本情報

氏名	安藤 紫		(顔写真) ※任意
所属			
連絡先	電話		
	メール		
	その他 (HP等)		

2. コーディネート可能な分野・コーディネート実績

<可能な分野> ・不動産仲介業（主として売買）をとおしての地域連携活動			
<これまでの主な実績>			
(通年)	人口減消滅予防を意識した中山間地の公民館・町会と協力関係を持った不動産仲介	花咲く湯涌まちづくりネットワーク・湯涌公民館・モンスーン企画	湯涌地区における公民館・地元NPOと連携した空き家・空き土地仲介
	地域づくりを意識した仲介	モンスーン企画・同業および関連事業各社	主として空き家・空き土地の仲介・販売している。街並みおよび伝統的技術保存に配慮した町家の利活用サポートや、依頼に応じて販売後の転用・運用における、地元業者や地域社会との関係構築支援にも対応。
<今年度の実績(※)>			
2021年6月～12月	都市計画区域外における山間地の古民家の宅地建物および農地の利活用	釣部町町会長・モンスーン企画・移住予定者・司法書士・土地家屋調査士	<通年>としたもの以外の実績 正規不動産売買がほとんど見られない山間の土地建物売買では地域社会への配慮や移居前管理等が欠かせない。スムーズな移住に向けて、町会長と連携し、また、土地の諸問題について、各専門士業者と連携して前例のない仲介に取り組んだ。
2022年3月	移動する定住者（移住者）と政策と不動産についての勉強会	一般社団法人日本oui ターン協会・モンスーン企画	様々な背景の地域流入者や、変化する社会に対して、現在の市場の動きについて、協会側の質問に応じて講義をした。また、参加者の意見を聞き議論を交わすことで認識を深め合う場を持った。

3. 石川地域づくりコーディネーターとしての今年度の目標

<協会への貢献に関して>

他の活動をされている方の報告や情報を交換できる総会などの機会においては、積極的に参加したい。また、通年にあたって、公式非公式の場を問わず、個別現場でコーディネーターという横のつながりを活用したい。名刺にコーディネーターであることも肩書きとして表記していると、その役割や協会について質問されることがとても多く、その後のやりとりでウェブサイトを紹介している。今後、普段の資料持ち歩きとして本協会の案内などを持ち歩くことをしてみよう。

<地域づくり活動全般に関して>

これまでの蓄積をもとに、取り扱い事業の進行における効率化をはかる。同業者や異種士業者との地域情報連携を加速する。多様な地域活動者との問い合わせや連携依頼が増えているので、専門分野の知識や技能を活かしてできるだけ要望に応えられるよう対応するとともに、活動の範囲を広げる。

4. 今年度の活動報告と自己評価

<協会への貢献に関して(※)>

コロナ社会において社会の様相は、かなりこれまでと違うものとなり、今までと同じ活動が全くできなかったのが実情だった。

<地域づくり活動全般に関して(※)>

中山間地の釣部町や湯涌への移住支援については変わらなかった。一方、コロナ社会で求められる不動産品目に変化する中で、居住困難者増加に伴う需要に対して、経験ある同業他社と連携して対応できたのは良かったと思う。また、外で具体的な活動をする準備段階として、オンラインの勉強会で教育普及・知識交換を行えたことも成果である。内部的には創発的な新分野事業については、具体的に段階をすすめることがいっそうの課題であると振り返る。